

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 令和5年度 IT・イノベーション推進事業
『DXモデル創出補助金』の採択結果について

一般財団法人さっぽろ産業振興財団では、市内IT事業者による、中小企業のDXの実現に資する新サービスや画期的なソリューションの開発を支援することを目的とした、令和5年度「DXモデル創出補助金」の公募を実施しました。

その採択結果について、以下に記します。

1. 公募期間

令和5年(2023年)4月17日(月)～同年6月6日(火) 17:00まで

2. 応募数

最終提出期限までに7件の応募がありました。

3. 採択審査

2項の応募に対し、令和5年(2023年)6月22日に、有識者、札幌市、及び一般財団法人さっぽろ産業振興財団職員にて構成された「DXモデル創出補助金審査委員会」を開催し、申請書類及び申請者自身による事業内容のプレゼンテーションに対して審査を実施した結果、下記に示す4件の事業について「採択の余地あり」と判断し、補助対象事業とすることに決定いたしました。

応募企業名（五十音順）	事業の名称
株式会社サンクレエ	ユーザー様自身が自分で使って業務を可視化出来る様なチャットボット対話形式の現状分析ツールの開発
株式会社調和技研	中小企業のDX促進を狙いとする特化型AIモデルのプラットフォーム開発
株式会社M I E R U N E	位置情報DXのためのデータ共有クラウドサービス「MIERUNE BASE」開発事業
株式会社メディア・マジック	DXでバス事業の課題解決 エッジAI技術を活用したバス利用動向調査システムの開発

4. 本事業について

補助対象事業を実施される上記の企業の皆様には、着実に事業を遂行いただき、申請された事業計画において、以下が実現されることを期待します。

- ① 業界の垣根を越えて幅広い分野で展開できるモデルケースとなること。
- ② 製品やサービス・ビジネスモデルの変革をもたらすケースとなること。
- ③ 本市経済の活性化に寄与していただくこと。

以上